第３回　チューターセッションの開始および終了の技法

問１　チューターセッションの開始（個人ワーク）

1. チューターセッションの開始時に自分なりにすべきことを書き出す
2. １についてイメージ・トレーニングをしたり、声や態度にして練習する
3. チュータリング終了後、１が実施できたかどうかをふり返る
4. 自分のチュータリングについて、どうすれば改善できるかを考え、１～３をくり返す

問２　チューターセッションの中間（個人ワーク）

1. チューターセッションの中間時に自分なりにすべきことを書き出す
2. １についてイメージ・トレーニングをしたり、声や態度にして練習する
3. チュータリング終了後、１が実施できたかどうかをふり返る
4. 自分のチュータリングについて、どうすれば改善できるかを考え、１～３をくり返す

問３　チューターセッションの終了（個人ワーク）

1. チューターセッションの終了時に自分なりにすべきことを書き出す
2. １についてイメージ・トレーニングをしたり、声や態度にして練習する
3. チュータリング終了後、１が実施できたかどうかをふり返る
4. 自分のチュータリングについて、どうすれば改善できるかを考え、１～３をくり返す

問４　チューターセッションのRPG（グループワーク）

1. 「チューター」「チューティー」「観察者」の3人1組になる
2. チューターセッションのRPGを開始する（10～15分程度）
3. 観察者は、メモをとりながら２を観察する
4. ２が終了したら、観察者がチュータリングについて気づいたことを述べる
5. チューター、チューティーがそれぞれの役柄の感想を述べる
6. 役割を交換して、２～５を行う
* 観察者の記録をもとに、チューターの望ましい行動を示すチェックリストを作成し、それぞれのチューターが気をつけるべきことのリストとして共有してもよい

問５　他者のチュータリング

1. 実際のチュータリング中に、他のチューターを観察し、気づいたことについてメモをとる
2. １を基に、自分のチュータリングの改善点のリストを作成する
3. チュータリングの終了時に２をチェックする
* ２のメモを基に、観察したチューターと意見を交換してもよい

トレーニングのルーブリック

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **A** | **B** | **C** | **D** |
| 自分の言葉で具体的に書くことができている／論理的に書くことができている | 自分の言葉で書くことができているが、具体性や論理性に不足がある | 参考資料をほぼ書き写しただけである／単なる感想でしかない | 問いに対して適切な答えになっていない／一言で終わっている（短すぎる） |